



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年4月30日

上場会社名 カンロ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2216 URL https://www.kanro.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 哲也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 佐藤 光記 (TEL) 03 (3370) 8811  
 C F O 財務・経理本部長

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	8,710	—	1,399	—	1,407	—	993	—
2025年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 986百万円( —%) 2025年12月期第1四半期 一百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	23.57	—
2025年12月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2025年12月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年12月期第1四半期の数値及び2026年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 2025年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	30,573	19,249	63.0
2025年12月期	33,607	18,984	56.5

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 19,249百万円 2025年12月期 18,984百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	45.00	—	17.00	—
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	15.00	—	18.00	33.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2025年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。2025年12月期第2四半期末の1株当たり中間配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。株式分割後の基準で換算した2025年12月期の1株当たり年間配当金は、32円となります。

## 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	—	2,300	—	2,300	—	1,600	—	37.97
通期	36,500	5.0	4,900	4.4	4,900	3.2	3,450	2.1	81.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	45,946,812株	2025年12月期	45,946,812株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	3,764,420株	2025年12月期	3,808,480株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	42,158,872株	2025年12月期1Q	42,139,074株

※1. 2025年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

2. 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託口)の保有する当社株式(2026年12月期第1四半期995,400株、2025年12月期1,039,500株)が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(収益認識関係)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、前第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（以下、「当第1四半期」）におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善から緩やかな回復基調にあります。しかしながら、米国の通商政策や物価上昇の継続、金融資本市場の変更等が与える個人消費への影響が、景気を下押しするリスクとなっており、中東情勢の影響も含め先行きは不透明な状態が継続しています。

そのような経済環境の中、キャンディ市場全体の販売金額は前年を上回りました。当社の主要ドメインについて、飴カテゴリーの市場販売金額は、のど飴需要の一時的な落ち込みにより前年を下回りました。グミカテゴリーでは、ハード系が牽引し引続き伸長しています。

当社は、企業パーパス「Sweeten the Future 心がひとつぶ、大きくなる。」の下、2025年よりスタートした「中期経営計画2030」に基づき事業を推し進めた結果、当第1四半期の売上高は、87億10百万円となりました。

飴は、のど飴の落ち込みをグルメカテゴリーやスティック形態がカバーし、44億86百万円となりました。製品別では、季節限定の「金のミルクプレミアムショコラ」を始めとした「金のミルク」シリーズや、「じゅるる」シリーズの「じゅるるシャインマスカット」が好評を博しました。グミは、国内での他社との競争が激化する中、主力ブランドである「ピュレグミ」シリーズや、柔らかなグミとハードグミとが二層になった「カンロ ザ・ストロング」シリーズの好調により、40億90百万円となりました。また、高価値商品「グミツェル」も、直営店舗ヒトツブカンロ原宿店、デジタルプラットフォーム「Kanro POCKeT」において引続き売上を伸ばしました。さらに、子会社のKanro America Inc. も、米国で「ピュレグミ」シリーズを販売し、取扱店舗数及び販売金額は順調に増加しております。素材菓子は、1億31百万円となりました。

利益面では、人員増加に伴う労務費等固定費の増加を、増収により吸収することで、売上総利益は37億93百万円となりました。

営業利益においても、保管配送費の増加、企業広告宣伝費等の増加、人員増加による人件費増、2025年7月に稼働を開始した新基幹システムの減価償却を始めとするシステム関連経費等の一般管理費の増加を、増収効果にて吸収した結果、13億99百万円、経常利益は14億7百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、9億93百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ30億33百万円（9.0%）減少し305億73百万円となりました。

これは主に売掛金が12億98百万円、現金及び預金が12億85百万円、繰延税金資産を含む投資その他の資産が3億55百万円減少したことによるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ32億97百万円（22.6%）減少し113億24百万円となりました。

これは主に未払金が12億21百万円、未払法人税等が9億16百万円、賞与引当金が8億57百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ2億64百万円（1.4%）増加し192億49百万円となりました。

これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益9億93百万円の計上と、配当金7億34百万円の支払いによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2026年2月13日に発表いたしました内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,321,250	3,036,064
売掛金	10,247,963	8,949,279
商品及び製品	1,312,145	1,500,012
仕掛品	81,675	144,598
原材料及び貯蔵品	568,680	585,263
その他	469,688	333,587
流動資産合計	17,001,403	14,548,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,890,213	9,899,639
減価償却累計額	△6,086,477	△6,164,691
建物及び構築物（純額）	3,803,735	3,734,948
機械装置及び運搬具	16,227,480	16,221,233
減価償却累計額	△11,246,770	△11,471,781
機械装置及び運搬具（純額）	4,980,710	4,749,452
土地	1,497,829	1,497,829
建設仮勘定	3,926,840	4,056,326
その他	1,504,139	1,493,565
減価償却累計額	△1,103,104	△1,124,314
その他（純額）	401,034	369,250
有形固定資産合計	14,610,151	14,407,807
無形固定資産	494,695	471,547
投資その他の資産		
投資有価証券	160,400	158,243
その他	1,340,375	987,114
投資その他の資産合計	1,500,776	1,145,357
固定資産合計	16,605,623	16,024,712
資産合計	33,607,027	30,573,518

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,249,322	3,163,166
短期借入金	1,000,000	1,000,000
未払金	2,249,501	1,028,354
未払費用	2,711,300	2,351,778
未払法人税等	1,004,582	88,241
賞与引当金	1,305,199	447,815
役員賞与引当金	152,000	37,150
その他	582,313	797,991
流動負債合計	12,254,220	8,914,498
固定負債		
退職給付に係る負債	2,064,149	2,102,373
役員株式給付引当金	183,612	179,444
その他	120,125	127,801
固定負債合計	2,367,887	2,409,618
負債合計	14,622,107	11,324,116
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,864,249	2,864,249
資本剰余金	2,577,892	2,577,892
利益剰余金	13,950,987	14,210,538
自己株式	△742,892	△731,178
株主資本合計	18,650,238	18,921,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,553	82,932
為替換算調整勘定	1,006	1,954
退職給付に係る調整累計額	249,121	243,012
その他の包括利益累計額合計	334,681	327,899
純資産合計	18,984,919	19,249,401
負債純資産合計	33,607,027	30,573,518

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	8,710,567
売上原価	4,917,466
売上総利益	3,793,101
販売費及び一般管理費	2,393,666
営業利益	1,399,435
営業外収益	
受取利息	4,687
売電収入	1,746
受取ロイヤリティー	4,260
その他	3,635
営業外収益合計	14,330
営業外費用	
支払利息	2,750
売電費用	1,280
その他	1,866
営業外費用合計	5,897
経常利益	1,407,867
特別損失	
固定資産除却損	1,525
減損損失	6,418
特別損失合計	7,944
税金等調整前四半期純利益	1,399,923
法人税、住民税及び事業税	53,419
法人税等調整額	352,930
法人税等合計	406,350
四半期純利益	993,573
親会社株主に帰属する四半期純利益	993,573

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	993,573
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1,620
為替換算調整勘定	947
退職給付に係る調整額	△6,108
その他の包括利益合計	△6,782
四半期包括利益	986,791
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	986,791

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	399,125千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社及び当社の連結子会社の事業は菓子食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社及び当社の連結子会社は、菓子食品事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)
飴	4,486,438	51.5
グミ	4,090,770	47.0
素材菓子	131,029	1.5
その他	2,329	0.0
顧客との契約から生じる収益	8,710,567	100.0
外部顧客への売上高	8,710,567	100.0

(注) 「その他」は、食品以外の雑貨類であります。